

## ■伊賀・山城南・東大和定住自立圏の取り組みについて

### 今までの取り組み状況について

#### ① 関西 SDGs プラットフォームの入会について

【別紙1】

令和4年10月、SDGsの達成に向けて多様な主体が参加する「関西SDGsプラットフォーム」に入会した。

本フォームは、関西の民間企業、NGO、NPO、大学、自治体等多様な主体が参加している。SDGs推進に向け先進的に取り組む企業や自治体等に関する情報を収集すること、本圏域や本市の取り組みを関西方面に向け発信すること、SDGs推進を通して多様な主体との連携・関係づくりを進めることを目指し、活動していく。

#### ② 「伊賀・山城南・東大和定住自立圏」での高校進学エリアの拡大について

【別紙2】

令和5年3月20日、笠置町、南山城村を所管する相楽東部広域連合教育委員会と三重県教育委員会が覚書を締結。定住自立圏内での高校進学エリアが拡大することとなった。従来は笠置町、南山城村からは伊賀白鳳高校の建築デザイン科のみ志願可能だったが、令和5年度に実施する入学選抜から伊賀市内の3校、上野高校と伊賀白鳳高校、あけぼの学園高校の全学科の志願が可能となる予定。

#### ③ 2023年度企業版伊賀市ふるさと納税の寄付募集について

【別紙3】

企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）は、国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に、税制上の優遇措置が受けられる仕組み。寄付募集事業として「302 水と歴史でつながる圏域プロジェクト」を選定した。

### 今後の取り組みについて

#### ① 「空からの圏域見学体験事業」について

令和5年11月（11/3（金・祝）又は11/4（土））実施予定。対象者は定住自立圏域（伊賀市、京都府笠置町・南山城村、奈良県山添村）の小学4～6年生及び添乗員約20人以内。三重県広域防災拠点（伊賀拠点）の離着陸場から各圏域を回る合計約100kmのルート（45分）を午前、午後各1回運航する予定。

#### ② 防災についての意見交換について

県境で発生した災害についての意見交換を伊賀消防署と相楽中部消防組合消防本部で計画している。両者は平成18年度に相互応援協定を締結。

#### ③ 伊賀・山城南・東大和定住自立圏推進協議会後援事業（R5）について

・第20回しまがはら「竹灯りの宴」～変わりゆくもの、変わらないもの～

令和5年9月23日（土・祝）15時～20時30分 於島ヶ原温泉やぶっちゃんの湯